

問題番号	模範解答
問題1	3
問題2	1
問題3	2
問題4	3
問題5	4
問題6	3
問題7	4
問題8	1
問題9	2
問題10	2
問題11	4
問題12	1,4
問題13	1
問題14	3
問題15	2,4
問題16	3
問題17	4
問題18	1
問題19	3
問題20	2
問題21	2
問題22	4
問題23	4
問題24	4
問題25	3

問題番号	模範解答
問題26	3
問題27	2
問題28	1
問題29	1
問題30	4
問題31	3
問題32	1
問題33	3
問題34	1
問題35	2
問題36	3
問題37	4
問題38	4
問題39	4
問題40	2
問題41	4
問題42	4
問題43	1
問題44	1
問題45	3

記述式解答
問題46

本設問は、特定の正解は設けていないが、以下の要件および観点を踏まえて記述されていることが望ましい。

【要件】

- ・ 指定された文字数以上であること（460字以上）
- ・ 誤字・脱字がなく、適切な段落構成で記述されていること

【観点】

まず、「看護職の倫理綱領」第14条の条文意図を簡潔に述べたうえで、当該「綱領」で初めて導入された行動規範である「社会正義」について、その意味(あらゆる場面においてどのようにすれば人々の尊厳が守られ、平等な対応になるのかを判断する基準)を論じることを求めている。以上の内容を踏まえ、自身の経験をもとに、「社会正義」と「看護職が担うべき役割」について具体的かつ論理的に述べていることを評価する。

※日本看護協会が明示している「看護職の倫理綱領」の第14条「条文解説」は以下の通りである。

「看護職は、人々の生命、尊厳及び権利をまもり尊重する立場から、生命と健康に深く関わるあらゆる差別、貧困、さまざまな格差、気候変動、虐待、人身売買、暴力などについて、地球規模の観点から社会正義の考え方をもちて社会と責任を共有する。常に、わが国や世界で起きているこれらの問題についての知識を更新し、意識を高め、それらについて社会に発信するよう努める。また、これらの問題の潜在的な状況から予防的に関わり、多職種や関係機関で連携し看護職として適切な対応をとる。」